

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「金魚さん涼しそう」
【撮影】佐藤 萌さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



齋藤幸子さん(業平在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第55回は、業平にある春慶寺の住職夫人で、「おてらおやつクラブ」の活動に参加している齋藤幸子さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

春慶寺の運営に携わりながら、「おてらおやつクラブ」等の活動に参加しています。認定NPO法人「おてらおやつクラブ」とは、お寺の様々な「おそなえ」を仏様からの「おさがり」として頂戴し、子どもを支援する団体の協力の下、様々な事情で困り事を抱えているひとり親家庭に「おすそわけ」をする活動です。現在、全国で約1900のお寺が参加しています。段ボールに詰めたお供え物を、「おてらおやつク

らぶ」を通じて対象家庭に発送したり、区内の子ども食堂や施設等に直接届けたりしています。そのほかにも、豊島子どもWAKUWAKUネットワーク等を通じた支援も行っています。

檀家の皆さんからのお供え物は、お経をあげたうえで各家庭や施設に届けています。最近では、この活動が認知され始め、乾麺や缶詰等の日持ちするお供え物が増えていて、支援の輪が広がっています。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

お寺には、たくさんのお供え物がありますが、頂き過ぎたお供え物を無駄にしないための方策に頭を悩ませることもありました。そのようなときに、「おてらおやつクラブ」を主催している安養寺(奈良県)の松島さんのセミナーに参加したことが、現在の活動を始めたきっかけです。

近所の学童施設には住職がお菓子等を直接届けていて、学童の子どもたちにとっても喜ばれています。子どもたちの笑顔が、これらの活動を続けるモチベーションにつながっています。また、支

援先の中には、数年にわたって食料等をお送りしている家庭もあります。その家庭からお礼の手紙や写真等が届いたときは、子どもたちの成長を温かく見守る親戚の叔母さんのような気持ちになりますね。

このような活動を通じて、子どもの貧困問題に少しでも寄り添えればと思っています。また、これらの問題は、普段見えないところに多く隠れています。これからも、周りの皆さんの理解と協力を得ながら、支援の輪を広げていきたいと思ひます。

Q. 齋藤さんは、すみだのどんなところが好きですか？

隅田川花火大会は、毎年楽しみにしています。東京スカイツリー®がお寺の目の前にできた時は、花火が見えなくなることを心配しましたが、現在も東京スカイツリーと東京ソラマチ®の間からきれいな花火が観賞できます。

また、東京スカイツリーができたことで、以前

に比べてお寺の前も人通りが増え、特に外国人観光客の訪問が多くなりました。片言の英語ですが、様々な国の方と交流することで、私自身の世界が広がっているように感じ、とても楽しいです。このような交流を通して、皆さんも「すみだ」を好きになってくれると嬉しいです。



◀檀家の皆さんからのお供え物の一部です。果物、お菓子に加え、カップラーメン等のインスタント食品もお供えされています。また、「おてらおやつクラブ」の活動の周りも行っています。

▶果物等のお供え物は、鮮度が落ちないように早めに届けるようにしています。



次回登場してくださるのは・・・

文花でご主人とともに「長屋茶房天真庵」を営む野村 喜代美さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

すみだ北斎美術館が入館者100万人を達成！

墨田区長

山本 亨

6月25日、すみだ北斎美術館の入館者数が100万人を突破しました。すみだ北斎美術館は、北斎生誕の地である「すみだ」に平成28年に開館してからの約6年半で、コロナ禍での休館など、入館者数が伸び悩む厳しい時期もありましたが、それらを乗り越え、国内外から100万人もの方にご来館いただくこととなり、大変嬉しく思います。同時に、北斎への世界的な注目度の高さを実感しています。

記念すべき100万人目の入館者となったのは、千葉県松戸市から企画展のために来場した八木ヶ谷 柚希さん(小学校3年生)です。この日に行われたセレモニーでは、八木ヶ谷さんに同館のミュージアムグッズや年間パス

ポート、企画展の図録等を贈呈しました。また、7月23日には、これまでの感謝を込めて、100万人達成の記念イベントも開催したところです。今回の企画展「北斎 大いなる山岳」(8月27日まで)にも、多くの方にご来館いただいています。引き続き、多くの皆さんに愛される美術館をめざし、澁谷館長とともに、北斎の魅力を実感してまいります。

さて、区では、夏休み期間中等の子どもたちの学びを支援することを目的に、子ども1人につき1万円分の電子図書カード等を配付する「子どもの学び応援事業」を開始しました。この夏休みの期間に、好きな本を読んだり、美術館で北斎の芸術に触れてみたり、文化的

な体験をしてみたいかでしょうか。本や芸術との出会いによって、皆さんの人生が豊かになり、夢や希望が叶うことを心から願っています。



すみだ北斎美術館の澁谷館長、八木ヶ谷さん親子と

